

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	三遠南信道の開通を契機に「天竜峡」を竜東地域拠点とする新たな観光資源開拓のための挑戦
事業主体 (連絡先)	龍江地域づくり委員会 (担当者: 佃 賢次、電話番号: 0265-27-3004、E-mail: ic92475@city.iida.nagano.jp)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,187,040 円 (うち支援金: 3,285,000 円)

## 事業内容

1. 南信州龍江アウトドアフェス(令和2年11月14日 飯田市龍江水辺の楽校)  
: eBike、パックラフト等アウトドアアクティビティ体験会
2. 南信州アウトドアパーク アウトドアシンポジウム (令和3年3月7日 場所: 飯田市龍江 龍江公民館/Youtube配信)  
: 三遠南信自動車道開通までの道のり/アウトドアコーディネーターの洞口氏による基調講演/南信州でのアウトドアレジャーの可能性を探るパネルディスカッション/南信州アウトドアパーク構想発表
3. シンポジウム資料(三遠南信自動車道 建設のあゆみ) 発刊と情報発信



【アウトドアフェス パックラフト体験】

## 【目標・ねらい】

- ①大規模観光から小規模観光受け入れへのシフト
- ②コロナ禍対応3密回避のアウトドアレジャーや講演会等開催方法の提案
- ③未来を見据えた交通網整備後の観光受け入れ準備

## 事業効果

- ①アウトドアフェスにより当地域と親和性の高いアウトドアレジャーによる家族、友人など小団体での観光の選択肢の提案。  
シンポジウムによる当地区でのアウトドアレジャー拡大の啓発、気づき、着想の機会創出。  
2つの事業実施による当地区の‘アウトドアレジャー観光地’としての露出による拡大知名度向上に効果。
- ②コロナ禍が継続する中で、コロナウイルス完成予防も徹底しつつ、またオンラインライブ配信を併用し、屋外でのイベント開催、講演会を実施。これにより翌年以降も同様の環境下でも強度を持った開催するノウハウ、経験を得た。
- ③シンポジウムで、これまでの歴史の振り返り、活動開始の機運を高め、登壇者のみならず聴講者からも観光受け入れアイデアを募り、次年度以降の組織的な活動の礎ができた。

## ※自己評価【 B 】

## 【理由】

申請した金額規模、事業内容に沿って実施することができた。オンライン配信など各種コロナ禍への対応により、今後も継続するであろう事業実施時の感染症予防対応への耐力をつける事ができた。

## 今後の取り組み

今年度のアウトドアフェス、シンポジウム等の事業実施で得たつながり、経験、機材などを礎にし、引き続き、最近の観光トレンドに即した当地区の潜在的な観光資源と、既存観光資源を組み合わせ、地域振興、南信州という広域の観光推進を行い、既存観光に対する観光客の減少、地区内人口減少と高齢化の問題といった地域課題解決を図っていきたく考えている。具体的には、当地区が有する「天竜川河畔」、「坂」、「里山」等を潜在的な観光資源と捉え、これらと親和性の高いキャンプ、パックラフト、eBikeなどのアウトドアレジャーを掛け合わせ、加えて果樹収穫体験など既存観光も巻き込み、独自性のある観光コンテンツとしていきたい。

また同様の活動を行う周辺公共的団体と連携する事で、より魅力のあるまた厚みのある観光コンテンツへ昇華させ、南信州全体で、観光客を抱え込み長期間の滞在型観光を担うことを目指していく。

本活動は、委員会が主体となり、NPO法人七和の会を含め周辺地域の企業・団体その他関係各所とも連携して活動していくが、長期的な活動の継続を視野に、通年通して運営実行メンバーの参加を募る。本メンバーは、次年度以降も、アウトドアレジャーと既存観光の掛け合わせによる地域振興を検討、実施していく面々であり、各メンバー本業との複業、ギグワークによる収益事業化を目指すものである。